



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党控室メール: [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyouasan@city.yachiyo.chiba.jp)

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第580号
2023年2月6日

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

緑が丘地域の中学校不足の解決を急げ

緑が丘西地区は「西八千代北部特定土地区画整理事業」で、小学校2校、中学校1校を建設予定でした。ところが、小学校1校のみに計画が変更されてしまいました。そのため緑が丘地区を含む緑が丘地域の中学校不足と、大規模集合住宅の建設による小学校不足の問題が露呈しました。

八千代市は、住民の要求に押され昨年4月、「西八千代地区小中学校対策検討委員会」を立ち上げ、同10月の報告書において小学校を新設する方針を策定、小学校不足解決に向けて動き出しています。

しかし、中学校については「引き続き検討」とし、地域の子どもたちは、遠く離れた睦中学校や高津中学校へ通っています。

中学校用地はどうなったのか？

現時点で「西八千代北部特定土地区画整理事業」で計画されていた中学校用地は既ありません。日本共産党八千代市議団は、中学校用地が無くなってしまった経緯を調査していますが、中学校の設置が計画されていた当時の資料ですら、市から正式に入手できない実態から、昨年6月9日の定例議会で繰り返し、資料の提出をもとめていました。

不明だった中学校予定地が判明（裏面に資料掲載）

日本共産党は、昨年6月定例会の質疑で「西八千代北部特定土地区画整理事業において、小・中学校の設置が予定されている時期の資料」について、質問を求めました。

八千代市教育委員会は「2007年（平成19年）1月に独立行政法人都市再生機構千葉中部開発事務所による、八千代都市計画事業西八千代北部特定土地区画整理事業の土地利用計画変更に係る関係各課説明が行われた際に配付された資料、土地利用計画変更案に学校用地があった」と答弁しましたので、根拠となる資料の提出を求めていました。9月定例会でも繰り返し求め、ついに昨年末に入手することができました。

※資料(裏面)：「緑が丘西地区に中学校用地が掲載されている資料」をご参照下さい。

暮らしやすい街づくりに学校は必須

日本共産党八千代市議団では引き続き、学校用地が無くなってしまった経緯も含め、緑が丘地域の中学校不足を解決するために、地域のみなさんとともに中学校の設置を求め、議会の内外で全力で奮闘する決意です。

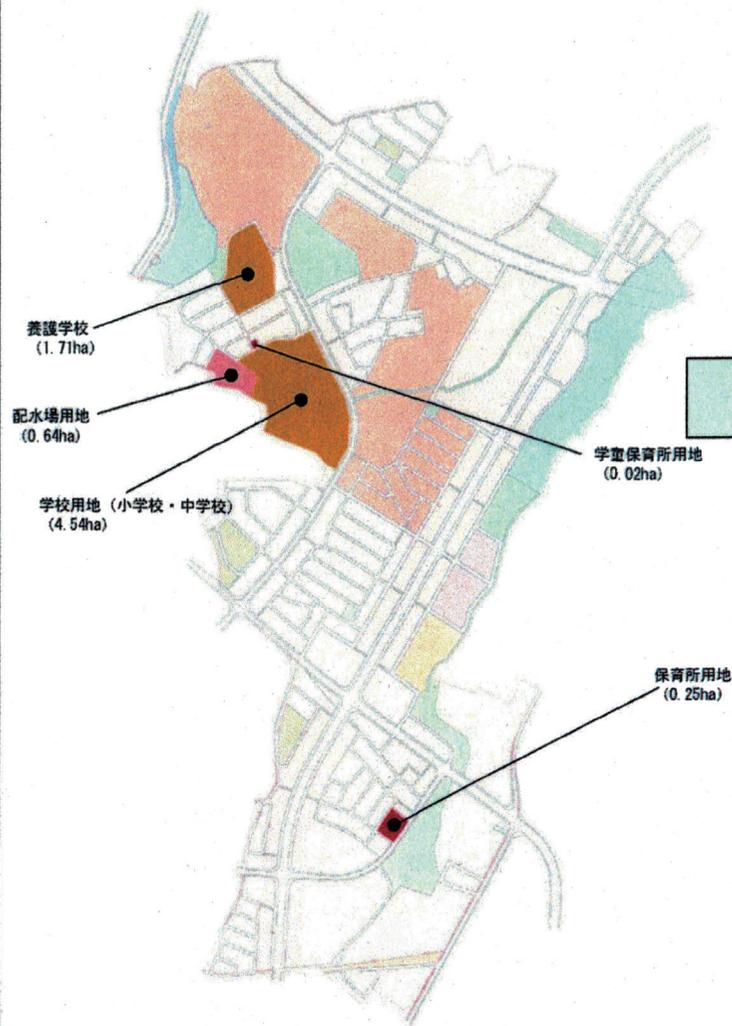
暮らしやすい街づくりに学校は必須です。緑が丘地域への中学校設置のほか、小学校が無くなってしまった米本団地の問題など、もっと暮らしやすい八千代市にするために引き続き頑張ります。

●資料：「緑が丘西地区に中学校用地が掲載されている資料」

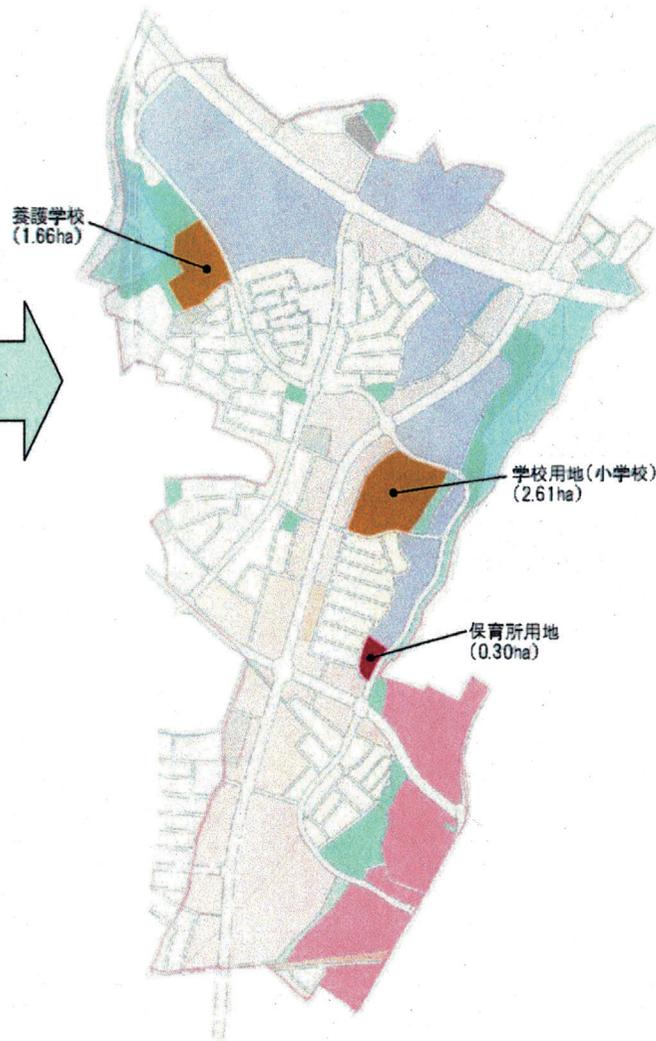
※ 2007年(平成19年)1月に独立行政法人都市再生機構千葉中部開発事務所による、八千代都市計画事業西八千代北部特定土地区画整理事業の土地利用計画変更に係る関係各課説明が行われた際に配付された資料

■ 公益的施設について

【現計画】



【変更案】



■ 小学校・中学校

現計画では地区の西端の船橋市との行政界沿いに計画している。これは、学区を地区内のみと想定していたためだが、現時点でも新木戸小学校が定員超過しており、地区外(駅周辺)も含めて学区を変更する必要が生じたこと、あわせて現在より駅に近く、宅地の完成が早くなる位置への変更の要望があり、位置を変更する。

中学校については、整備が確定していないことから現時点で用地は確保していない。

■ 保育所・学童保育所

保育所は、出来るだけ小学校に近い位置に確保するよう要望があり、位置を変更する。また、学童保育所と併設するとの事から、面積についても変更する。

■ 配水場

上下水道局にて地区外陸浄水場の増築で対応する検討をされており、地区内での用地は確保しないこととし、削除。ただし、配水場建設については現在協議中であり、地区内で建設することとなった場合は、改めて用地を確保する。

■ 養護学校

より現況の敷地と整合させるよう変更。

【比較表(参考)】

	当初面積 (ha)	変更面積 (ha)
学校用地	4.54	2.61
保育所用地	0.25	0.30
学童保育所用地	0.02	-
配水場	0.64	-
養護学校	1.71	1.66
合計	7.16	4.57